

令和3年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会

日時：10月27日（水）13時～

場所：瑞浪市化石博物館別館、研修室

次 第

1 あいさつ

2 報告事項 ・ 令和3年度事業中間報告

3 協議事項 ・ 令和4年度事業計画について

4 その他 ・ 文化施設再編について
・ 令和4年度～令和5年度協議会委員について

令和3年度事業中間報告

1) 普及活動の充実

①企画展の開催（定期展示会開催事業）

- ◆名称 令和3年度企画展「新発見！みずなみの化石たち
～ミズナミムカシアシカ発掘記～」
- 期間 7月24日（土）～11月3日（祝）
- 内容 令和2年度に発見されたミズナミムカシアシカのクリーニングとレプリカの制作が完了したことに合わせて発見された化石を一堂に展示している。展示解説リーフレット制作した。子供向けのリーフレット制作は今回初めての試みである。

②フロア展示の開催（定期展示会開催事業）

- ◆名称 エイキガニ ～市内から発見されたユニークなカニ化石～
- 期間 4月24日（土）～5月30日（日）
- 内容 令和2年度に発見されたエイキガニを展示した。

- ◆名称 新種初公開「ミズタニオカミミガイ」
- 期間 6月5日（土）～8月31日（日）
- 内容 令和3年5月に新種発表されたミズタニオカミミガイを展示した。

③講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
- 概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり＋化石のクリーニング（1日コース）を行う。
- 開催日 毎月1回【5月、6月、9月は中止】
- 定員 半日コース：30名、一日コース：20名
- 参加費 半日コース 500円 一日コース 一般：1,000円

- ◆名称 みずなみ化石教室上級コース
- 概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
- 開催日 5月29日（土）【中止】、10月23日（土）【開催】
- 条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
- 定員 10名 参加費 1,000円

- ◆名称 **夏の化石教室～化石マイスター養成編～**
 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。
 開催日 7月29日（木）、30日（金）、8月7日（土）
 時間 9時30分から15時30分
 定員 15名 参加費 1,500円
 講師 川瀬基弘氏、市村駿汰氏、村宮悠介氏、片田はるか氏、当館学芸員
- ◆名称 **夏の化石教室～化石マイスター認定編～**
 概要 地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には修了証を授与する。
 開催日 8月22日（日）【中止】
 時間 9時30分から15時
 定員 20名 参加費 1,000円
 講師 安藤佑介（当館学芸員）
- ◆名称 **恐竜の模型を作ろう（入門編）**
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。
 開催日 8月1日（日）
 時間 9時30分～11時30分
 定員 10名 参加費 1,200円
 講師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名称 **恐竜の模型を作ろう（応用編）**
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
 開催日 8月1日（日）
 時間 13時～15時30分
 定員 10名 参加費 1,700円
 講師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名称 **コハクの原石を磨こう！**
 概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。
 開催日 10月24日（日）
 時間 10時から12時、13時から15時
 定員 10名 参加費 1,700円
 講師 マイケル・クツ氏（コハクアーティスト）

④博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬から1週間、実習生1名（琉球大学理学部）を受け入れた。

⑤学校等教育機関との連携 ※太字が市内学校

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	岐阜県高文連自然科学部会	8月8日	21名	博物館見学、化石採集
2	名古屋市立向陽高校	8月19日	41名	地層見学、博物館見学
3	博物館活用講座（県教委）	10月8日	8名	教員研修
4	瑞浪小学校	10月19日	122名	博物館見学、化石採集

⑥出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。
要望があった場合は随時対応を行う（要予約）

10月13日（水）に開催される理科部会で宣伝を行った。

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	稲津公民館・夏季講座	7月28日	10名	化石採集体験、観察

2) 資料の充実と調査・研究

①資料の寄贈

	寄贈者	寄贈日	資料名・数量
1	大蔵昌平（愛知県春日井市）	6月6日	アンモナイト1点
2	加納康彦（岐阜県土岐市）	7月3日	珪化木12点
3	山根不可止（岐阜県瑞浪市）	7月20日	貝化石など200点以上
4	加藤寛治（岐阜県土岐市）	9月1日	高師小僧など15点
5	深田なおこ（岐阜県土岐市）	9月4日	つぼ石1点

②資料の閲覧

	申請者・所属	閲覧日	資料名・数量
1	中島礼（産総研）	7月14日	各地のホタテガイ化石 30点
2	村宮悠介（深田地質研究所）	7月30日	メソソククリークコンク リーションなど400点
3	三上智之（東京大学）	8月3日	ヘリコプリオンなど34 点
4	市村駿汰（名古屋大学）	8月8日	タマキガイなど13点

③資料の貸し出し

申請者・所属	閲覧日・貸出期間	資料名・数量
合田隆久（友の会会長）	3月20日～9月12日	サメ化石など12点、企画展 ¹ で展示のため
西岡佑一郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム）	5月13日～1年間	シカ化石、新種記載のため
佐野市葛生化石館	7月7日～12月25日	女神石灰岩など15点、企画展 ² で展示のため

¹ 中津川市鉱物博物館第39回私の展示室「北陸地方の化石」

² 佐野市葛生化石館企画展「日本の石灰岩と化石展」

④調査・研究事業（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

（1）調査・収集

- ・鹿児島県薩摩川内市：白亜紀の十脚類化石の調査、採集【延期】。

（2）研究

- ・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（担当：安藤、継続中）
- ・市道戸狩・月吉線道路工事の際に産出した鰐脚類化石の記載（担当：安藤、国立科学博物館と共同、継続中）
- ・平成30年に市内で発見されたシカ化石の記載（新属新種）（担当：安藤、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共同、継続中）
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討（担当：柄澤、継続中）
- ・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂（担当：柄澤、新規テーマ）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究）

⑤展示資料等の購入・制作（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・研究用書籍：Badenian Decapods of Hungary 等2冊を購入。
- ・鰐脚類（ミズナミムカシアシカ（仮））の頭骨化石のレプリカ制作（事業費887千円）。企画展で展示後は来年度から常設展で展示する予定である。

⑥古生物データベースの更新

（化石博物館資料収集・備品等購入経費、化石博物館システム改修事業）

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、

標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。9月30日時点で、5,185点の標本が登録されている。

令和3年度はデータベース入力のパソコンおよび入力ソフトの更新を行った(事業費1,315千円、下記の研究報告公開ウェブサイト制作費も含む)。

⑦化石博物館研究報告の発行(定期研究報告発行事業)

6月に研究報告公開用ソフトを導入、独自の公開ウェブサイトを制作し公開を始めた。独自の公開ウェブサイトでは研究報告45号~48号及び専報を公開中である。また、4月からJ-stageでも研究報告47号から公開を始めた。

研究報告には10編の原稿が投稿されており、受理されたものを5月(3編)、6月(1編)、8月(2編)に順次公開した。なお、公開された論文については令和4年3月に冊子媒体で270部出版する。

⑧職員による論文の発表: 9月30日までに下記論文が出版された。

- Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, and H. Karasawa. 2021. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T15: Systematic Descriptions: Superfamily Portunoidea. *Treatise Online* 151: 1-40.
- Schweitzer, C. E., H. Karasawa, and R. M. Feldmann. 2021. Reevaluation of *Thelecarcinus* Böhm, 1891 (Decapoda: Brachyura: Raninoidea: Paranecrocarcinidae). *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum* 48: 21-25.
- Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, and H. Karasawa. 2021. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T16: Systematic Descriptions: Superfamilies Trapezioida and Xanthoidea. *Treatise Online* 153: 1-42.

⑨報道発表、広報への記事掲載

令和3年度はミズナミムカシアシカククリーニング完了と企画展開始に関する情報提供を行った。広報みずなみには「みずなみ化石ナビ」の記事を6月号(新種ミズタニオカミミガイについて)、8月号(ミズナミムカシアシカククリーニングその1)、10月号(ミズナミムカシアシカククリーニングその2)に掲載した。

3) その他

新型コロナウイルスに対する対応について

- 来館者には手指の消毒及びマスクの着用を徹底し、職員により展示等の消毒を行っている。。
- 入口にサーマル AI カメラを設置している。
- 緊急事態宣言のため、8月27日から9月30日まで臨時休館した。

資料

令和3年度入館者数（9月30日現在）

（単位：人）

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	2年度	比較
4	788	686	39	25	1,538	56	1,482
5	2,621	1,274	0	0	3,895	0	3,895
6	492	378	26	277	1,173	792	381
7	961	775	83	45	1,864	1,355	509
8	1,082	1,004	24	82	2,192	1,797	395
9	0	0	0	0	0	2,309	-2,309
合計	5,944	4,117	172	429	10,662	6,309	4,353

令和3年度野外学習地利用者（9月30日現在）

（単位：人）

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	2年度	比較
4	236	828	1	19	237	847	25	822
5	364	1,284	0	0	364	1,284	0	1,284
6	43	397	1	23	44	420	338	82
7	214	747	0	0	214	747	159	588
8	141	479	1	21	142	500	641	-141
9	0	0	0	0	0	0	971	-971
合計	998	3,735	3	63	1,001	3,798	2,134	1,664

令和3年度みずなみ化石教室参加者

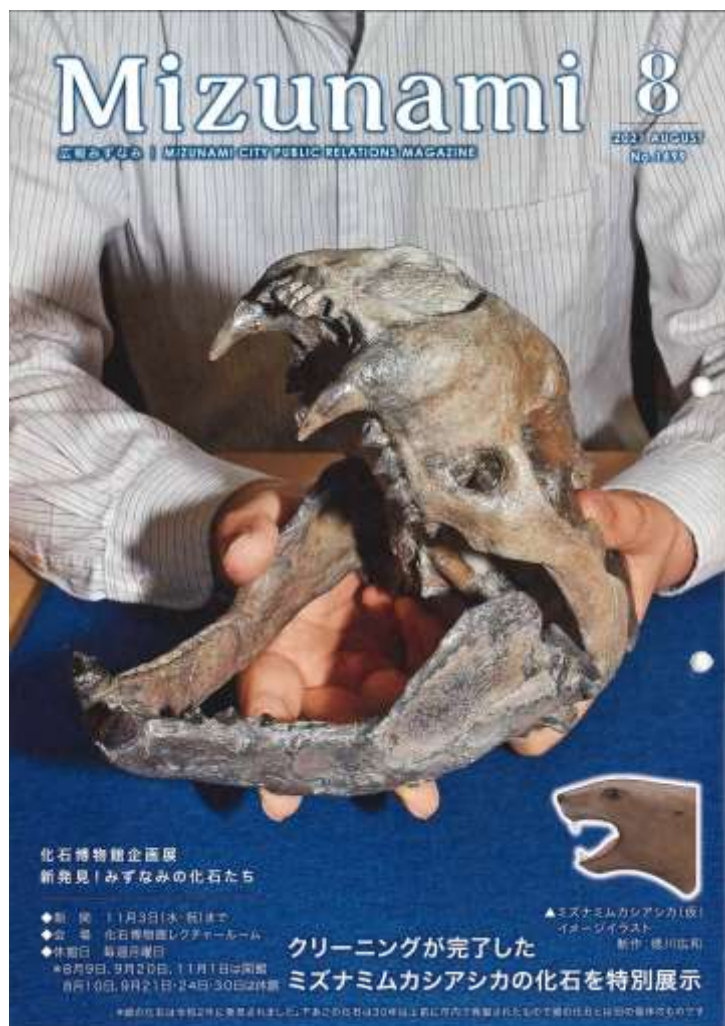
（単位：人）

半日コース		一日コース		上級コース	
定員 30名		定員20名		定員10名	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月25日	27	4月25日	16		
7月18日	31	7月18日	19		
合計	58	合計	35	合計	0

令和3年度各講座受講状況

(単位：人)

講座名	開催日	受講者数	定員
化石マイスター養成編	7月29日	15	15
化石マイスター養成編	7月30日	16	15
化石マイスター養成編	8月8日	15	15
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月1日	10	10
恐竜の模型を作ろう(応用編)	8月1日	10	10
コハクの原石を磨こう①	10月24日	10	10
コハクの原石を磨こう②	10月24日	10	10
合計	7	86	85



広報みずなみ8月号表紙

令和4年度事業計画について（案）

1) 普及活動の充実

①企画展等の開催（定期展示会開催事業）

- ◆名称 令和4年度企画展「太古のみずなみを歩いていたケモノたち」
- 期間 7月23日（土）～10月30日（日）
- 概要 瑞浪市やその周辺で発見された陸生ほ乳類の化石を展示。

- ◆名称 フロア展示
- 概要 エントランスホールにて展示ケース1台に広報や論文に掲載された化石を定期的に展示する。年に2～3回実施予定。

②講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
- 概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング(1日コース)を行う。

開催日 毎月1回

定員 半日コース：30名、一日コース：20名

参加費 半日コース 500円 一日コース 一般：1,000円

- ◆名称 みずなみ化石教室上級コース
- 概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
- 開催日 5月27日（土）、10月29日（土）
- 条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
- 定員 10名 参加費 1,500円

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
- 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。

開催日 7月28日（木）、29日（金）、8月7日（日）

時間 9時30分から15時30分

定員 20名 参加費 2,000円

講師 川瀬基弘氏、市村駿汰氏、村宮悠介氏、片田はるか氏、当館学芸員

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
- 概要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・

認定試験を行い、修了者には修了証を授与する。

開催日 8月21日(日)
 時間 9時30分から15時
 定員 10名 参加費 1,500円
 講師 安藤佑介(当館学芸員)

- ◆名称 **恐竜の模型を作ろう(入門編)**
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。

開催日時 8月13日(土)13時~15時
 8月14日(日)9時30分~11時30分
 定員 各回20名 参加費 1,500円
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

- ◆名称 **恐竜の模型を作ろう(応用編)**
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。

開催日 8月14日(日)
 時間 13時~15時30分
 定員 15名 参加費 2,000円
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

- ◆名称 **コハクの原石を磨こう!**
 概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。

開催日 10月24日(日)
 時間 10時から12時、13時から15時
 定員 20名 参加費 1,500円
 講師 当館学芸員

- ◆名称 **小さなほ乳類化石を探そう!**
 概要 高知県の洞窟から採集した堆積物から小さなほ乳類の化石を探し、標本作成を通じて化石の観察法などを学ぶ。

開催日時 11月19日(土)13時~15時
 11月20日(日)9時30分~11時30分、13時~15時
 定員 20名 参加費 1,500円
 講師 木村由莉(国立科学博物館)

③博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬の1週間、実習生を受け入れる。

④出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。
要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開催日 要望があった場合は随時（要予約）

講師 当館学芸員

対象 小学4年～中学3年

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

(1) 調査

- ・鹿児島県薩摩川内市：白亜紀の十脚類化石の調査、採集、8月を予定。
- ・沖縄県南大東町：新生代の十脚類化石の調査、採集、5月を予定。
国立科学博物館との共同研究、深田研究助成により調査する。

(2) 研究

- ・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（担当：安藤、継続中）
- ・市道戸狩・月吉線道路工事の際に産出した鰭脚類化石の記載
（担当：安藤、国立科学博物館と共同、継続中）
- ・海底洞窟堆積物より産出した十脚類化石
（担当：柄澤・安藤、国立科学博物館と共同新規テーマ、）
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討
（担当：柄澤、継続中）
- ・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂（担当：柄澤、新規テーマ）

- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究、）

②展示資料等の購入（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・図書コーナー用図書：はじめての古生物学、恐竜超世界等を購入予定。
- ・研究用書籍：Tropical Deep-Sea Benthos を購入予定。

- ・ミズナミムカシアシカ頭骨および下顎のレプリカを展示するための展示台の制作を委託する（約30万円）。
- ・ミズナミムカシアシカの復元模型（大きさ約20cm）を制作し、展示する（約25万円）、製作者は徳川広和氏。

③古生物データベースの更新

（化石博物館資料収集・備品等購入経費、化石博物館システム改修事業）

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。

④展示室パソコンコンテンツの更新（化石博物館システム改修事業）

展示室パソコンのクイズの問題を更新する。10問で約30万円。

⑤化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和4年度は研究報告第49号の公開を行う。公開された論文については令和5年3月に冊子媒体で270部出版する予定である。

3) その他

①文化施設再編について

文化施設の再編について、担当課としては化石博物館、陶磁資料館、美術館の3館を統合し、新博物館を建設することについて検討している。具体的な建設計画の策定段階で当協議会でも報告する。

②令和4年度～令和5年度博物館協議会委員について

協議会委員名簿（令和2年4月1日～令和4年3月31日：任期2年）

氏名	住所	選出区分
大路 樹生	名古屋大学博物館 教授	学識経験のある者
松岡 敬二	豊橋市自然史博物館ミュージアムアドバイザー	学識経験のある者
中山 京三	瑞浪市サッカー協会理事	社会教育関係者
西尾 京子	化石博物館ボランティア 市民図書館読み聞かせボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
吉田 尚子	明世小学校長	学校教育関係者